

講演会型+子育てサロン型(幼保園)

学校名等	大垣市立日新幼保園
実施日時	令和5年9月5日(火)10:00~11:30 オンデマンド配信 令和5年9月12日(火)~9月19日(火)
会場	遊戯室・各家庭
参加人数	20人(オンデマンド視聴 50人)
学習課題(分野)	講演会・座談会「子どものやる気を引き出す関わり方」 (自立心・思いやり・家族の大切さ)
運営者の願い	子どもをもつ親に、子育ての悩みを話せる場所を作り、子どもへの関わり方や自分自身の悩みを少しでも解消してほしい。 学び合いから生まれる笑顔と元気、学び合いから広がるコミュニケーションをしっかりと繋いでいきたい。

学習の内容

<取組内容>

①講師との打ち合わせ

子どもへの関わり方や声掛けなど、子育てが楽になる向き合い方をテーマとした。コロナ禍により、交流の少ない期間が長かったため、座談会では打ち解けて悩みを話し合える雰囲気を作るためのしなやかなづくりをするようにした。

②講演会及び座談会を開催。(下記<活動の様子>参照)

③多くの保護者が参加できるよう、後日 YouTube(園限定)で講演会の様子を配信した。

④キッズビュー(ICTシステム)を利用し、案内文の配信や参加申し込み、保護者へのアンケートを実施した。

<活動の様子>

【講演会(集合型及びオンデマンド配信)+講師を交えた座談会】

講師:(株)ヒューマンハート代表 百武 大介 様

子育てが楽になるコミュニケーションの・思い通りにならない子育てとの向き合い方など、会場とのやり取りを交えてお話しくださいました。座談会は、小グループで日常の身近な話題から悩みを自分の中で抱え込まないで誰かに話すことで、気が楽になることを体感した。



昨年までは、コロナ禍のため交流が少ない保護者同士であったが、緊張はすぐにほぐれ、和気あいあいとした雰囲気での座談会となった。

<保護者の声>

- ・講演会はとても心に刺さる内容で大変満足でした。良い話であったので、まだ物足りない、もっと詳しく、深く聞きたいというのが正直な感想です。
- ・子どもが話をしてくれた時、まずキャッチャーになって、一旦受け止めることをやってみたいなと思いました。私自身が肩の力を抜いて子育てをすることがまずは何より大事だなと思いました。
- ・おたまじゃくしとカエルを例にあげて話されたことにはとても納得しました。おたまじゃくしにジャンプしてとは言わないけど、人間は大人も子どもも形が同じだから、同じことを要求してしまいます。子どもは大人と同じようには出来ないと改めて気付かせていただきました。
- ・兄弟がみえるママさんとお喋りをする機会があり、「兄弟あるある」みたいな話や、今後やってくる思春期になると出て来る悩みなど、色々なお話が出来てよかったです。



ICTシステムの活用

大垣市の公立園が導入しているキッズビューアプリにて案内文・出欠席の有無・アンケート作成・アンケート結果報告を行った。印刷や配布・回収の手間がなくなり、作業の効率が良くなった。

保護者の方にも使いやすく便利であると好評だった。

講演会に参加できない方に園限定で期間限定オンデマンド配信をYouTubeで行い、たくさんの方に講演会を見て頂くことができた。